

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和元年9月13日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670103524
法人名	医療法人 起生会
事業所名	ハートフル 林
所在地	鹿児島県鹿児島市西田三丁目15番5号 (電話) 099-257-6977
自己評価作成日	令和元年7月18日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	-----------------------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和元年8月27日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・同法人の医療関係との連携や訪問看護、24時間看護師と連携体制、他科往診などしっかりとした医療体制ができている。そのため、ご家族も安心出来ていると評価を得ている。介護においては理念のとおり常に優しさと思いやりの心をもって、尊重し敬意を持って入居者様と接し支援しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は、母体医療機関に近いビルの2階及び4階に開設されている。母体医療機関との24時間医療連携を始め、系列の訪問看護ステーションと連携・協力体制が築かれており、医療面における利用者・家族の安心に繋がっている。

・町内会に加入し、夏祭りやおはら祭り踊り連の披露等の地域行事に参加したり、地域の商店を利用する等、普段から地域の一員として暮らしている。また、マジックや踊り等のボランティア及び高校生等の実習を受け入れる等、地域との交流を図ると共に地域貢献にも取り組んでいる。

・運営推進会議に系列法人のデイサービス・有料老人ホーム職員にも参加を依頼し、同一ビル内の職員の連携と目配り等で、利用者の安全で制限のない生活を支援する協力体制を築いている。

・資格取得を勧めたり外部研修の助成を行うなど、職員の質の向上を図っている。また、職員の提案を活かして施設内の床をフローリングにする等、職員の意欲を高め、サービスの向上と職場環境の整備に努めている。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	常に『優しさと思いやりの心』を持ち入居者様に接し他部署との連携を取る事で『安心・安全の介護』を提供できるよう努めている。	理念を事業所の事務室・リビングに掲示し、パンフレットや職員のネームに記載していつでも確認できるようにしており、ケアの振り返りは毎月、ミーティング時に行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自身が地域の一人として日常的に交流している	当事業所館内には西田文化協会といった町内会があり、協会主催の踊り連のおはら節披露や夏祭り等出来る限り参加し交流を図っている。	町内会に加入し、地域の夏祭りへの参加やおはら祭り踊り連の来訪時に住民と交流している。近隣の商店を利用する等、日常的に交流を図っており、マジックや踊りのボランティアや高校生の実習も受け入れている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	年間を通じて高校生や専門学生の実習を受け入れており、認知症の理解をしてもらっている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	奇数月に運営推進会議を実施。サービス内容や活動う報告を行い、ご意見を伺い施設運営に反映させ、サービス向上に努めている。	2ヶ月に1回の運営推進会議を実施し、ヒヤリハットを含めた報告と意見交換を活発に行っている。意見をサービスに活かせるようマニュアル化している。地域情報の提供や事業所の取り組みの周知を図る等、相互の理解を深める機会になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	地域包括支援センターの運営推進会議への出席、介護相談委員の受け入れなど機会あるごとに連携して協力関係を築いている。	市の各関係担当者とは、出向いたり電話で報告や相談を行ない、協力関係を築くように努めている。市の説明会や研修会に参加し情報収集に努めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束委員会を設置し委員会が中心となり勉強会や研修を正しく理解し防止に努めている。	指針を基に委員会は3ヶ月に1回・勉強会を年2回実施している。一人ひとりのその日の状態をきめ細かく共有しながら、見守りの重要性を全職員が理解し、利用者の自由な暮らしを支えている。帰宅願望の強い利用者には、付き添って散歩等に対応している。他の部署と連携しながら取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待防止の施設内勉強会を実施し職員全員正しく理解し防止に努めている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	成年後見制度を利用されている入居者様もいらっしゃるので職員全員理解できている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居時に管理者又はケアマネ又は総務課長立ち合いにより重要事項説明及び契約書内容等の説明を行い同意のもと契約を結んでいる。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	意見箱を設置したり日常の意見、相談等については都度早急に対応し解決に努めている。家族会や運営推進会議にて結果報告を行い、各フロアにも会議や文書にて情報共有している。	利用者には、日常の会話や介護相談員との面談で要望等を聞いている。家族には、運営推進会議や家族会及び面会時に要望等を聞いて対応を検討している。利用者の体重減少の対応を主治医に確認して説明し、家族の不安解消を図ったこともある。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	月1回のミーティングを行い、意見交換をしたり、都度、職員の意見や提案に耳を傾け反映させている。	毎月のミーティング時に職員の意見等を聞いており、ケアの統一を図ったり、床のフローリング導入等に反映させている。個別相談は管理者が受け、必要に応じて部長も相談に対応している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	職員の努力は人事考課で評価する制度が確立している。又、自己啓発により資格取得すると手当等に反映されている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>年間を通して、施設内研修、施設外研修、勉強会を積極的に行っている。また、スキルアップの為に資格取得も支援している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>今年度も施設見学等により他施設との比較・検討など交流会に参加し意見交換などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入居される前やケアプラン作成時ご本人様とコミュニケーションを取り、困り事や不安要望をしっかりと聞きプランに反映させており。実践後も意見を伺っている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居される前より御家族の困り事を聞きしっかり要望に添いながら話し合いを勧め信頼関係を構築している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	ご本人とご家族との話し合いの上アセスメントをしてどのようなサービスが良いのか決め、随時検討し必要なサービスを追加したりしている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	ホームを家と考え介護するだけでなく出来る事は出来るだけご自身で出来る様支援し共に暮らすという関係を構築している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族に今までどのような生活をされ過ごされて来られたのかを聞きご本人らしい生活出来る様ご家族と相談しながら一緒に支えていく関係作りを心がけている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	西田地区に住まわれていた方は町内会行事に参加されたり、散歩したりしている。外出、外泊は自由にご家族と相談しながら行なっている。	家族・知人の面会時は居室でお茶を飲みながらゆっくりとした時間を過ごしている。家族と外食や自宅訪問等で外出・外泊したり、職員が自宅訪問に同行した際は隣人等との交流を支援し、関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	共有空間にて自由にお話をしたり、毎日皆で食事をし職員がパイプ役となり入居者様同士交流がしやすいように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去された後も入院されている方のお見舞いに伺ったり他施設とも連携しご家族の相談事もお受けしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日常の本人の会話等から思いや意向を汲みとり確認し全職員で共有し支援している。又、ご家族からも情報を頂いてケアプランに反映できるよう努めている。	入浴時や夜間帯にゆっくり話を聞き、本人の思いを把握するように努めている。意思疎通が困難な場合は、家族等の情報を参考に表情等から読み取り、職員は連絡帳や申し送りで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居の際に詳しいアセスメントを行なっている。また入居前の施設や病院と連携し情報の交換を行なっている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中で会話や行動を記録し全職員、情報共有し、個々に合ったケアを統一して行えるよう努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当者会議やカンファレンスにてそれぞれの情報や意見を聞きプランを見直し、評価しながら介護計画を作成している。	面会時に担当者会議を実施し、本人・家族の要望等を聞いている。要望を基に、ユニットのミーティングで職員の意見を聞き、介護計画を作成している。モニタリングを3ヶ月に1回実施し、6ヶ月毎及び状況変化時に介護計画を見直している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の活動内容やご様子、会話等こまめに記録し、職員間で情報を共有し気づきや工夫を活かし、介護支援に生かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>GH職員だけでは出来ないサービスは連携している他部署、他事業所を利用して頂いている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>散歩や花見など地元周辺で行ったり、買い物支援を行い地域の方々と触れ合える機会を作っている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期受診、往診、訪問看護等で日々の状態報告を行い、適切な医療が受けれるように支援している。</p>	<p>契約時にかかりつけ医を確認している。母体医療機関の定期受診は職員が同行しており、精神科・皮膚科・歯科等の往診や訪問看護師の健康管理及び緊急時対応により、適切な医療を受けられるようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>入居者様に変化があれば随時報告し、指示を仰いでいる。又24時間、訪問看護師と連携体制を取っている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>毎月全員、林内科胃腸科病院を受診しており密に関わりを持つようにしている。入退院をスムーズに行えるように詳しい情報提供を行っている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入居時や病状の安定が保てなくなった際、終末期医療の意向書を書いて頂き、職員、主治医、ご家族と入居者への方針を共有化し支援している。</p>	<p>契約時に重度化等の場合の対応について指針で説明し、同意書をもっている。重度化等の場合は医師の説明時に管理者が立ち会い、家族の意向を確認している。家族の意向に沿って、訪問診療・訪問看護・職員のチームで支援に取り組んでおり、看取りの事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>病院との連携が確立されている。マニュアルがあり職員が確認できるように掲示してある。また、訪問看護師と24時間連携がとれるような体制を整えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練を年2回実施し、避難方法など全職員が理解している。今後GHへの協力体制が構築できるよう交流を図っている段階である。</p>	<p>年2回の避難訓練を昼夜想定で実施し、消防署の指導・協力を得て行っている。防火管理者を中心に自主訓練や非常災害時の対策についても研修を実施し、職員の理解と経験を積んでいる。同一ビル内の系列事業所と合同で実施している。備蓄は、水や米・缶詰・高カロリー食を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	パーソンセンタードケアを実施しケアを行う際には必ず声掛けし同意を得てから行うようにしている。	接遇研修を実施し、名前にさん付けで呼びかけ、入室時や排泄・入浴等の介助時は、声をかけて本人の同意を得てから行うようにしている。引き継ぎは利用者の居ない所で実施し、プライバシーを確保している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	ご本人の希望に添える様またはそれに近い事が出来る様に支援している。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	本人の希望で、買い物や散歩など支援している。レクに参加して頂く際もご本人の意思を尊重している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	更衣の時には、ご本人の希望を伺い、季節に合わない物を切られている時は、アドバイスをを行っている。離床時には髪をくしでといたり顔をホットタオルで拭いたりしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食べ物の好き嫌いは日頃より伺っている。調理時は彩にも注意している。盛り付け等手伝いを頂いている。外食レクの実施も行っている。	利用者の嗜好や栄養バランスを考えながら、個々に応じた食事形態で提供している。おせちなどの行事食やおやつを手作りし、盛り付け、後片づけなど利用者の力量に応じて行っている。誕生日のケーキを提供したり外食にも取り組んでいる。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の見守りを行い様子観察し、毎食摂取量の記録を行なっている。必要に応じて声掛けを行い食事や水分を摂って頂いている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	個々に応じた口腔ケアをしっかりと行い舌ブラッシングも行っている。自立の方へも確認を行っている。夜間は義歯を洗浄剤に浸けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	食前食後のトイレを伺ったり、都度訴えがあれば誘導しトイレでの排泄が出来るようにしている。排泄チェック表にてパターンを把握し失敗を軽減出来る様支援している。	排泄チェック表で個々の排泄パターンを把握し、誘導や見守りを行っており、オムツ使用者も可能な限り日中はトイレでの排泄を支援している。適切な排泄用品を検討して、オムツからリハビリパンツへの改善例もある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排泄チェック表にて排便コントロールもしっかりできている。日々の体操や食事の内容も考慮し工夫している。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	リハビリやマッサージのスケジュールに合わせ出来るだけ本人の意思を尊重している。浴槽に入れる方はゆっくり入って頂いている。体調に合わせて清拭も行っている。	週2回午前中に、入浴を実施している。個浴をゆっくり楽しめるようにしている。体調により清拭も行っている。嫌がる場合は、タイミングを見て声かけし状況改善に努めている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	ご本人に休まれるかを伺い、希望に沿って臥床介助している。電気も好みによって付けたり暗くしたりしている。ご自分で訴える事の出来ない方は様子を見て休息して頂いている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬剤師が管理している。服薬の際は、職員が日付名前の確認を行っている。状態変化がある時は、看護師への報告を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	おやつ作り、洗濯物たたみなどその肩に合った役割を支援している。日々のレクリエーションで歌ったりゲームをして競い合ったりして楽しんで頂いている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	1人ひとりの希望に添って散歩や近く買い物に出掛けられるように支援している。又、ご家族とも協力し外食や外出が出来る様支援している。	車椅子の利用者も一人ずつ近隣や公園等の散歩をしている。年間計画を立てて、初詣や季節の花見・外食・お茶に出かけている。家族と外食や自宅訪問等で外出する利用者もあり、できるだけ出かけられるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	管理出来る方はご家族様了解のもと管理して頂き買い物へ行ったりされている。他の方々は必要な物は小口現金から立替買い物している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	要望があればいつでも家族や大切な方へ電話や手紙のやり取りは出来ます。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	日々のレクリエーション時、季節に合った壁画を毎月作成して頂き季節を感じて頂いたり、室温湿度管理も行い、整理整頓にも努め安全で安心できる空間作りに努めている。	フロアは明るく壁画で季節を感じられるよう工夫し、ベランダ菜園もある。空気清浄機や加湿器を使い温度・湿度をこまめにチェックしている。利用者は畳スペースやソファ等の好きな場所で、テレビや新聞を読みながらゆっくり過ごせる空間で居心地良く過ごしている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	午前にお茶の時間を設けスタッフも交え談話できる時間を設け午後からおやつ時間を設け、その後皆でレクリエーションを楽しんだり、体操をしたりしています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	思い出の品や使い慣れた物を持ち込まれ、自宅のようにつろげる空間作りに努めている。	ベッドとエアコンを備えた居室に、応接セットやダンス・テレビ・ハンガーラック・仏壇等を置いたり、作品やぬいぐるみ・写真等で、本人らしい部屋作りをしている。好みの洋服、バッグなどすぐ取り出せるよう工夫し、居心地よく過ごせるよう配慮されている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	洗濯物を干したり畳まれたり、簡単な調理のお手伝いをして頂いたりしている。トイレや、洗面台の表示を見やすくし安全に移動できるようにしている。		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)		1 ほぼ全ての利用者の
		○	2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない